

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)

【公表番号】特表 2008-507637 (P2008-507637A)  
 【公表日】平成 20 年 3 月 13 日 (2008.3.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-010  
 【出願番号】特願 2007-522690 (P2007-522690)  
 【国際特許分類】

D 0 1 F 6/74 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 6/74 Z

D 0 3 D 15/00 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 20 年 7 月 9 日 (2008.7.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

(a) ドープフィラメントの凝固中または凝固直後に、凝固したドープフィラメントを水、または水とポリリン酸との混合物を含有する洗浄液とポリリン酸を加水分解するのに十分な条件下で接触させる工程と、

(b) 凝固ドープフィラメントを、水と有効量の塩基とを含有する中和溶液と、フィラメント中のポリリン酸を塩基と酸の塩まで中和するのに十分な条件下で接触させる工程と

を含んでなり、

中和されたフィラメント中に存在する塩基カチオン (M) とリン (P) のモル当量比 (M / P) が 2 . 5 ~ 3 . 4 であり、

得られたフィラメントにおけるフィラメント中の含有ポリリン酸の平均重合度が 1 . 5 未満または 1 . 5 に等しいようにする、ポリベンザゾールドープフィラメントからポリリン酸を除去する方法。

【請求項 2】

ポリベンザゾールと、

平均重合度が 1 . 5 未満または 1 . 5 に等しい、ポリリン酸と塩基の塩とを含んでなり、

フィラメント中に存在する塩基カチオン (M) とリン (P) のモル当量比 (M / P) が 2 . 5 ~ 3 . 4 であるフィラメント。

【請求項 3】

複数の請求項 2 に記載のフィラメントを含んでなる系。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の系を含有する布帛。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の系を含有する物品。

【請求項 6】

請求項 2 に記載のフィラメントを組み込んだ系、布帛または物品を製造する方法。